



# 千葉市部活動地域移行推進協議会

令和7年12月25日

千葉市教育委員会学校教育部 保健体育課・教育指導課

千葉市市民局生活文化スポーツ部 スポーツ振興課・文化振興課



- 1 地域展開に関する最新動向
  - ① 部活動改革及び地域クラブ活動の推進等に関する総合的なガイドラインの策定に向けた取組み
  - ② 文部科学省による地域展開関連の予算案について（7年度補正・8年度当初）
  - ③ 中学校体育連盟関係の動向について
- 2 実証事業の実施状況
  - ① 参加状況
  - ② 各クラブの活動状況
  - ③ 土気南中学校における地域展開の効果
- 3 地域展開に関する周知の実施状況
- 4 地域展開に関するロードマップ改訂の検討状況
- 5 令和8年度の実施について
- 6 先進自治体（兵庫県神戸市・川西市）への視察
- 7 デジタル地域クラブの実施について

# 1 地域展開に関する最新の動向「新たなガイドラインの策定」

## 部活動改革及び地域クラブ活動の推進等に関する総合的なガイドラインの策定に向けた取り組み

別紙①

部活動改革及び地域クラブ活動の推進等に関して、国としての考えを示すものとして、12月に公表予定。既存のガイドラインに記載されている学校部活動の在り方に加えて、『部活動改革の理念や方向性』『地域クラブ認定制度』などについて記載。



部活動の受け皿となる地域クラブ「認定地域クラブ」について各自治体で制度化するよう求めている。

改革の責任主体は、市町村。部活動の意義を継承・発展させたうえで、新しい価値の創出を図り、改革に取り組む必要

# 地域展開に関する最新の動向「文部科学省地域展開関連予算」

## 令和7年度 文部科学省関係補正予算（案）の状況

別紙②

令和8年度からの「改革実行期間」における部活動の地域展開等の全国的な実施を加速化させるため、**総額82億円の補正予算**を計上。地方公共団体の体制整備等（コーディネーターの配置費用等）や地方公共団体への伴走支援（相談窓口の設置等）に加えて、**平日も含めた地域展開等の加速化のための重点課題への対応**を新たに実施。



休日だけでなく、平日の地域展開に向けた取組みを対象とした実証事業の実施

## 令和8年度当初予算概算要求の概要

別紙③

- 地域展開の本格実施に向けて、補助制度が創設される
- 経済的困窮世帯の生徒への支援策についても制度化



各制度内容は、国において調整中であり現時点では詳細不明。

### 令和7年度予算

**I. 地域クラブ活動への移行に向けた実証** 16億円（12億円）  
29億円 [令和6年度補正予算] 委託・拡充

各都道府県・市区町村の地域スポーツ・文化芸術活動の推進体制等の下で、**コーディネーターの配置を含む運営団体・実施主体等の体制整備、指導者の確保、参加費用負担への支援等に関する実証事業を実施**し、国において事業成果の普及に努めるとともに、全国的な取組を加速する。



### 令和8年度予算概算要求

#### (1) 部活動の地域展開・地域クラブ活動の推進

① 地域クラブ活動の活動費等の支援  
〔指導者謝金  
事務局人件費等〕

② 経済的困窮世帯の生徒への支援  
(参加費・保険料)

③ 推進体制の整備等  
〔コーディネーターの配置  
人材バンクの設置・運用等〕

補助金

## 1 地域展開に関する最新動向「中学校体育連盟関係の動向について」

### 全国中学校体育大会（全中）の将来的な廃止を視野に検討

国の有識者会議において、日本中学校体育連盟専務理事が「今後の地域クラブ活動の参加の実績をもって今後の見直しも考えていくという流れ。**近い将来に全国大会をなくすということも、選択肢の中にある**」とし、今後の全中の出場チームが一部の民間クラブや認定を受けない地域クラブに偏る場合には、全中を廃止し、競技団体にゆだねることも視野に入れているとしている。

### 中学校体育連盟各種大会関連

- 全国中学校体育大会（全中）の27年度から一部競技の削減を受け、東北中学校体育大会においても28年度から一部競技の開催を取り止め。なお、関東大会などその他の地区大会では当面は削減の予定はなし。
- 少子化や教員の働き方改革、競技団体・種目団体主催の大会の充実などを理由に、各地で新人戦を廃止する動きが出てきている。島根県（令和5年度～）、甲府市（7年度～）、佐賀市（8年度予定）

## 2 実証事業の実施状況 「参加状況」

### 実証事業

全ての中・中等教育学校で、複数の部活動が実証事業に参加。全54校151部活動が参加し、108の地域クラブを設置。9月から3月の7か月間、25回程度の活動を予定で、2,580人の生徒が活動中。

### 実証事業の取組み詳細

- ・参加者生徒数 2,580人(10月末日時点)
- ・指導者 240人
  - ・兼職兼業(中学校教員) 74人
  - ・兼職兼業(小学校教員) 6人
  - ・兼職兼業(教員以外) 3人
- ・地域指導者 157人  
(うち47人がR6からの継続)

#### センター種目の他校からの参加状況

- 陸上 4人
- 新体操 7人
- ヨット 7人
- 硬式テニス 24人
- 水泳 15人
- 柔道 3人



60人が  
新たな活動に参加

## 2 実証事業の実施状況「各クラブの取組状況」

### 実証事業の取組み詳細



#### 磯辺地域ヨットクラブ

母体部活:磯辺中学校ヨット部

指導者:千葉市中学校教員、学生、会社員

参加者:ヨット部部員 23人、新規参加者 7人

#### 特徴・課題

- 新規参加者は全員未経験者。中央区から参加している生徒もあり、保護者の送迎や公共交通機関・レンタサイクルなどを活用して移動している。
- 熱心に参加している新規参加者は、すでに一人で操船し、沖に出るなどの技量習得に至っている。
- 課題としては、老朽化した船の修理や新規購入への対応といった費用面や自然相手の活動のため、風向きなどを考慮し、活動時間が長時間になってしまう点などがあげられる。

## 2 実証事業の実施状況「各クラブの取組状況」

### 実証事業の取組詳細



#### 千葉市地域合唱クラブ

母体部活:加曽利・新宿・みつわ台・おゆみ野南の合唱部

指導者:おゆみ野南中学校合唱部顧問、小学校教員

参加者:合唱部部員 23人 新規参加者 1人

#### 特徴・課題

- 大人数で活動することで迫力のある合唱ができるようになった。
- 参加生徒のモチベーションの差があることや、活動場所（新宿中学校が主な練習場所）への移動の負担
- 12月には、千葉市地域合唱クラブとして、吹奏楽団とのジョイントコンサートも実施するなど、単独校ではなかなかできなかったイベントにも参加できるようになった。

実証事業の取組み詳細

### 蘇我地域新体操クラブ

母体部活：蘇我中学校新体操部

指導者：社会人、学生、兼職兼業職員 3名

参加者：新体操部部員：5人、新規参加者：7人



#### 特徴・課題

- 経験者や初心者の男子なども参加
- 地域の新体操クラブの発表会に参加

### 打瀬地域硬式テニスクラブ

母体部活：打瀬中学校硬式テニス部

指導者：会社員3名

参加者：硬式テニス部部員 40人、新規参加者 24人

#### 特徴・課題

- 新規参加者の多くは硬式テニス経験者。
- 他校からの参加者が想定以上に多く活動場所を新たに確保
- 新規参加者は美浜区・花見川区が多く、他区での潜在的なニーズ

実証事業の効果（土気南中学校の取組）

別紙④

土気南中学校では、昨年度の実証事業から継続する形で、4月から地域クラブを開始。3年生も4月から地域クラブに参加。効果測定のため、部活動を引退する3年生及び保護者を対象としたアンケートを実施、また、学校の在校等時間について昨年度と比較し、教員の負担軽減効果を測定した。

問：部活動の地域クラブ移行（実証事業）はどうでしたか？

生徒	とても満足している	どちらかといえば満足している	どちらかといえば不満である	不満である	合計
回答数	20	3	0	0	23
割合	87%	13%	0%	0%	
保護者	とても満足している	どちらかといえば満足している	どちらかといえば不満である	不満である	合計
回答数	16	30	3	1	50
割合	32%	60%	6%	2%	

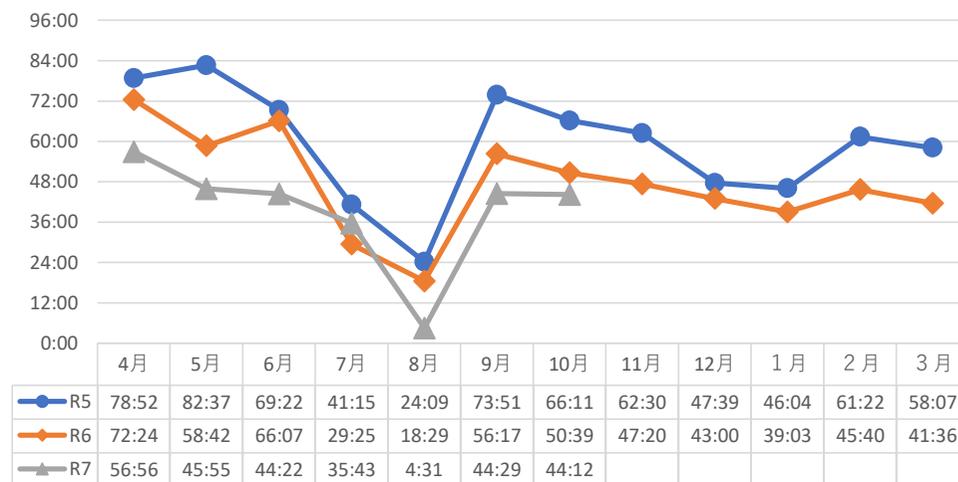
不満足の原因として、「期待したほど専門的な指導が受けられなかった」「地域指導者の指導が合わなかった」「（兼職兼業の指導者だったため）顧問の負担が減らなかった」などがあった。

実証事業の効果（土気南中学校の取組）

負担軽減に関する重要な指標である時間外在校等時間は、今年度は、実証事業実施前のR5年度と比較すると全ての期間で、実証事業開始年度であるR6年度と比較しても、7月を除き、対前年同月比で減少している。

働き方改革の取組の進展も考慮する必要があるが、地域展開の実証事業により、一定の削減効果は表れている。

時間外在校等時間



学校からのヒアリングにおいても、「休日の部活動指導が無いことによる教職員の負担軽減効果は高く、休日の出勤者は、以前と比べると大幅に減っている」とのこと。早期の完全地域展開を希望している。

# 地域展開に関する周知の実施状況

## 保護者への周知

部活動地域展開の理解促進を図るため、中学校生徒保護者、小学校児童保護者を対象とした案内を12月中旬にすぐーるにて発出。

同じ内容をホームページでも公開し、広く周知を図っている。

千葉市立中学校・中等教育学校の保護者のみなさまへ

### 部活動地域展開だより

第1号 R7.12発行

少子化が進む中、将来にわたり生徒がスポーツ・文化芸術活動に継続して取り組むことができる機会を確保するため、全国の自治体で中学校部活動の地域展開（地域移行）という取り組みを行っています。

#### 01 地域展開の今後のスケジュールは？

国では、全国の自治体（市町村）が部活動の地域展開に集中的に取り組むため、令和5年度から7年度までを『改革推進期間』、そして続く8年度から13年度の6年間を『改革実行期間』としており、この間に部活動の改革（地域展開）を進め、期間中に休日は、地域クラブとして活動する体制を構築するよう求めています。（下図参照）。

千葉市では、これらの方針に基づき、改革推進期間中に体制を整え、8年度以降速やかに休日部活動の地域展開を実施すべく、検討を進めておりましたが、実証事業などで明らかになった諸課題への対応等が必要となったことから、**休日**の地域展開の実施時期の見直しを行っております。

なお、千葉市では、まずは部活動の休日の活動を地域クラブへと展開することを目指していることから、**平日**は、従来どおり部活動として活動しますので、学校の部活動が廃止されるわけではありません。

【国が示す地域展開に関するスケジュール】



“ひとくちメモ①” 国による広報活動も行われています！  
改革の旗振り役であるスポーツ庁では、地域展開に関する保護者や生徒、関係者の皆様の理解を深めていただくため、HPでの情報発信やYoutubeでの様々な動画配信を行っています。  
イメージがわからない地域展開の取組みを先進事例なども踏まえ、わかりやすく説明されていますので、ぜひご覧ください。  
検索サイトで、『部活動改革ポータルサイト』で検索してください！



千葉市立小学校の保護者のみなさまへ

### 部活動のみらいだより

第1号 R7.12発行

いま、中学校では部活動の地域展開の取組みが行われています。小学生の保護者の皆様にもぜひ取組内容を知っていただき、「部活動のみらいだより」を発行いたします。お子様が今後参加する部活動の未来について、ぜひご家庭でもお子様と一緒に話し合い、理解を深めていただくと幸いです。

#### 01 部活動の「地域展開」とは

いま、中学校の部活動が急速に立っています。少子化などの影響で、学校単位での部活動の維持が全国的に難しくなっています。そのため、中学校部活動を従来の学校単位での活動から、地域への連携・地域での活動（地域クラブ）へと転換し、少子化が進む中でも将来にわたり生徒がスポーツ・文化芸術活動に継続して取り組むことができる機会を確保するための「学校部活動の地域連携・地域展開」の施策が全国の自治体で取組まれています。

#### 02 部活動と地域クラブの違い

「部活動」と「地域クラブ」は、どちらも子どもたちが自分の好きな活動に取り組むための環境ですが、そもそもの位置づけや運営主体など、違うところも多々あります。もっとも異なるのは、位置づけが学校教育の一環であったものが、そうではなくなります。今まで、中学校では部活動が当たり前でしたが、今後はそうではありません。将来的には、全国の中学校から部活動が無くなり、その代わりにスポーツや文化活動を行う場所として地域クラブが各地で整備されるようになります。

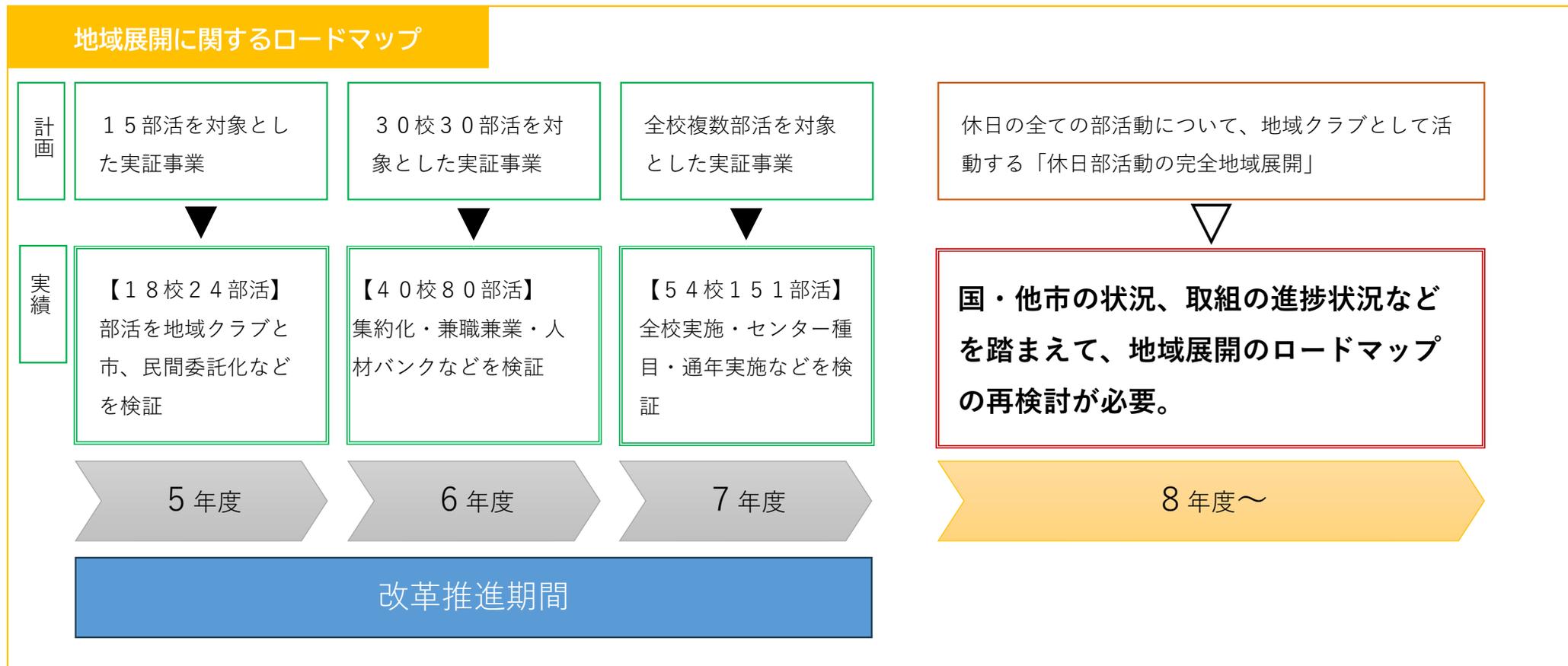
	部活動	地域クラブ
位置づけ	学校教育の一環（教育課程外）	学校と連携して行う地域クラブ活動（社会教育）
運営主体	学校	市町村や多様な組織・団体等（民間事業者など）
指導者	教員や部活動指導員（外部指導員）	地域指導員やボランティアの許可を受けた教員
メンバー	同じ学校の生徒	他校生徒も含む地域の生徒
練習場所	自分が通っている学校	自分の学校や近隣の小・中学校など
活動費用	用具代程度	参加費（※）+用具代
保険	災害共済給付制度（学校で入る保険）	スポーツ安全保険等、地域クラブで別途加入が必要

※国が今後提示予定の受益者負担の範囲、自己責任や他がの意向等を踏まえ、地域クラブにおける参加費の金額を検討中です。

“ひとくちメモ②” 国による広報活動も行われています！  
改革の旗振り役であるスポーツ庁では、地域展開に関する保護者や生徒、関係者の皆様の理解を深めていただくため、HPでの情報発信やYoutubeでの様々な動画配信を行っています。  
検索サイトで、『部活動改革ポータルサイト』で検索してください！



# 議題 ① 地域展開に関するロードマップの改訂について（検討状況）



## 地域展開に関するロードマップの改訂について（検討状況）

### 現状・課題

- ・国による地方自治体への支援制度の詳細が不明。（補助制度・経済的困窮世帯への支援制度等）  
→詳細は1月以降に判明見込み。国の各種情報提供や支援制度の拡充が急務。
- ・新ガイドライン「部活動改革及び地域クラブ活動の推進等に関する総合的なガイドライン」※への対応  
→現行の「運動部活動・文化部活動ガイドライン」の大幅な改訂が見込まれ、自治体の負担も懸念される



### 別紙⑤

九都県市首脳会議において本市提案項目「学校部活動の地域展開等の推進に係る支援について」を実施し、文部科学省への要望活動を実施。

【要望内容：地域展開に関する各種課題への国の適切な対応や自治体への十分な財政措置の実施、民間事業者が地域展開に協力しやすくなる環境の構築、部活動指導員に関する制度改善】

## 令和8年度の地域展開に関する事業について

### 参加希望部活の状況

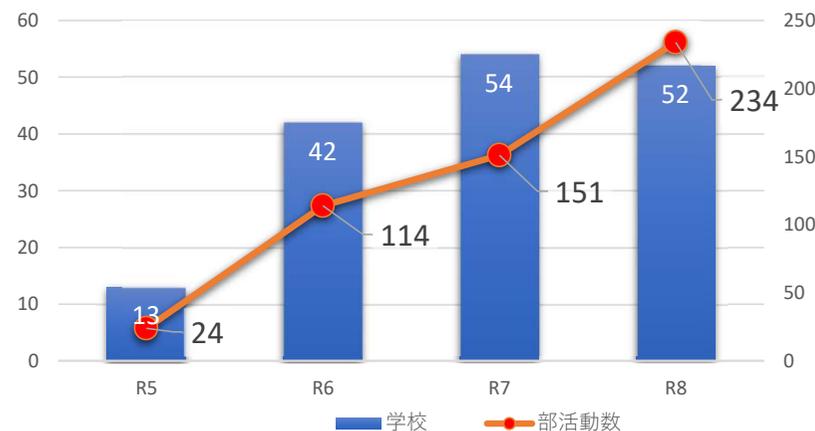
次年度の地域展開に関する取組として、学校に対して実証事業参加希望に関する予備調査を実施。各学校から実証事業への参加希望の部活動を調査したところ、今年度の実証事業部活動数151を大幅に上回る234の部活動の参加希望があった。



参加希望の学校数が増加傾向にあり、地域展開に関する各学校・顧客の理解・期待度が高くなっていることが推察できる。

	R5	R6	R7	R8
学校	13	42	54	52
部活動数	24	114	151	234

※R7の数字は、実証事業の参加実数。



### 具体的な取組み内容（案）

- 地域クラブポータルサイトの構築 （参加可能クラブの検索から申し込みまでシームレスな仕組みの構築）
- 他校の生徒を受け入れるセンター種目・クラブ数の拡充 （新規：バドミントン・卓球等、拡充：陸上等）
- 生徒のニーズに対応するための地域クラブの設置 （今年度参加者数が多かった硬式テニス等）
- 引退のない地域クラブの運営 （3年生が夏以降も参加できる環境を構築等）
- 指導者の更なる確保のため、地域指導者の地域クラブを運営 （原則として教員の兼職兼業は行わない）
- 科学クラブなどの科学系地域クラブ運営 （火星ローバー、ロボコンなどの取組を想定）
- eスポーツ地域クラブの実施 （令和7年度の取組をベースに回数・内容・人数を拡充）
- 将来的な受益者負担を見据えた取組み （参加者からの会費徴収を検討）

## その他 先進自治体の視察

### 先進自治体の視察（神戸市・兵庫県中体連）

#### □ 神戸市

- ✓ 地域展開の担当は、令和6年度が5人、7年度が5人増員の11人となっている。
- ✓ 市として教員の働き方改革の観点からも取り組むべき重要な課題として認識している。
- ✓ 教育委員会・学校現場・中学校体育連盟が連携を密にして取り組んでいる。
- ✓ 平成30年の部活動ガイドラインの制定、コロナ禍を経ての活動時間の短縮など部活動改革も実施してきた。
- ✓ 部活動の受け皿としての地域団体は、約1,000団体の登録がある（11月時点）
- ✓ もともと小学校区単位で総合型地域スポーツクラブが設立されており、地域クラブを導入しやすい土壌があった
- ✓ 保護者や地域住民が中心となって地域クラブを立ち上げる事例や、事業者がコベカツに向けたプランの設定などの事例もある。
- ✓ 大会の運営などは、今後コベカツの指導者に担ってもらうように、数年かけて引継ぎを行っていく。
- ✓ 吹奏楽の楽器などは、学校の備品のままで、コベカツの団体に貸し出しをする。
- ✓ 従来の部活動のみで使用していたような備品等は、今後はコベカツの枠組みで市が対応する方向で検討。

#### □ 兵庫県中学校体育連盟

- ✓ 令和9年度に兵庫県で中体連大会の近畿大会が、近畿地方で全国大会が開催予定となっている。
- ✓ 神戸市は、当初はコベカツの中体連参加については消極的だったが、現在は500近い団体が参加を希望
- ✓ 上記などの理由から神戸市は令和9年度までは負担金などを拠出してくれる方向。
- ✓ 令和10年度以降については未定。神戸市が兵庫県中体連から抜けると、組織として成り立たなくなることが懸念

### コベカツクラブの視察



1班は、友人同士で参加している6年生4人組  
4班は、鷹匠中学校の生徒（それぞれ部活動にも所属）  
NPO法人の職員は2名。ボランティアスタッフ5～6名。

#### □ つどい調理クラブ（モデル実施のクラブ）

##### 基本情報

- 主催者：特定非営利活動法人 サポートステーション灘・つどいの家
- 活動場所：神戸市立鷹匠中学校調理室
- 活動頻度：月1回（今年度は9月スタートで全9回程度実施予定）
- 会費：月500円
- 指導者：NPO法人職員、ボランティアスタッフ

##### 視察状況

##### ①運営について

- NPO法人が子ども食堂を運営している経緯で、コベカツでの調理クラブのニーズがあることが分かったため実施。
- 中学校の調理室を借りることができ、非常に運営しやすい。
- ボランティアスタッフは、色々な世代の人が参加している。県栄養士会に所属していた方も参加し、レシピなどを考案している。

## その他 先進自治体の視察

### コベカツクラブの視察



ボランティアの栄養士が、小中学生でも一人で作れるレシピというコンセプトで考案。当日は、ガオマンガイとマカロニサラダを調理

#### ②生徒の状況

- 食材について、民間事業者の協力を得て、一部無料で提供してもらっている。（当日は、鶏肉を提供してもらっていた。）
- 鷹匠中学校の生徒だけでなく、近隣小学校の児童や他校の生徒も参加
- 20名程度が登録。視察当日（11/26夕方）は、15人程度が参加
- 参加中学生は個々に申し込みをしている生徒が多く、小学生は友達同士での参加。生徒はいったん家に帰ってから再度の登校となる。

#### ③学校の受け止め方

- 施設の貸し出しについては、神戸市コーディネーターが間に入って実施し、年間で決まっている。
- 鍵の受け渡しは、当日教頭が行っている。
- コベカツ実施日はあらかじめ決まっているので、校内の教育課程でも考慮している。
- 部活動が無くなることについて、先生方の間では冷静に受け止められている。
- 学校は5時には部活動が終わっているので、そういった面では負担は減っている。

## その他 他市の動向

### 兵庫県川西市

- 令和6年度から地域クラブ活動を開始。現在までに100の地域クラブが立ち上がっている。
- 部活動の在り方を改善しようというところがスタート。
- 学校内でも移行できる部活から地域クラブとして活動を始めており、学校内でも部活動と地域クラブが混在している。
- 保護者の賛否は様々だったが、教育長自らが各学校に訪問して直接説明を行い理解を求めたことが効果的だった。
- 部活動が無くなっても学校運営上の大きな問題は起きておらず、教員にとっては夏休みがしっかりと休めるようになったなど良い効果が大きいと感じている。
- 地域クラブの入部率は、今年度は30%程度と徐々に上がってきていると感じている。
- 中体連の大会運営についても、地域クラブの指導者が担えるように数年かけて引継ぎを行っていく予定。
- 地域のスポーツ協会や種目協会も協力的に動いて、保護者と協力し、地域クラブを立ち上げていただいた。
- 苦情が直接教育委員会に来る仕組みになっており、専門の人員を配置しているわけではないので対応に苦慮している。
- 弓道が盛んな土地柄で、数十人が体験会に参加しており、地域クラブへの加入も期待できる。
- アンケートでは料理に関心をもつ子供が多かったが、体験会では参加者が少なかった。アンケートとのギャップも課題。
- 現在は、地域展開ということで気運が高まっているが、指導者の高齢化や後継者といった問題への対応が潜在的な課題。

## その他 スマートシティ推進課によるデジタル地域クラブ活動体験プログラムの実施

### デジタル地域クラブの開催



元プロeスポーツプレイヤーで、現在はNTTsports高等学院の教師が、eスポーツの講師として指導。

プログラミングのコースは、NTT東日本の社員が業務として従事（社員は社内公募で従事。普段は東北地方の支社に勤務）している方など。

- デジタル地域クラブ体験プログラムの実施（所管：スマートシティ推進課）
  - 企業版ふるさと納税を活用した取組
  - 千葉県スマートシティ推進ビジョンの実現に向けた千葉県スマートシティプロジェクト2025の取組みの一環として、デジタル人材育成の取組と、地域展開における新たな価値の創出も目的とし、千葉駅前のNTTsports高等学院を会場として、eスポーツとプログラミンの2コースを全4回（20名×2コース＝40名）で実施
  - 各コースとも、定員を大幅に上回る応募（2コース合計95名の応募）
  - ゲームのプレイスキルだけでなく、チームワークやゲーム大会開催には様々な職種が関わっているなど、eスポーツに関わる様々な知識を習得。
  - 高性能PCを活用して、最新技術を体験するなど自宅では難しい取り組みも行っている。

## その他 ②今年度の会議スケジュール（案）について

### 今年度の推進協議会の開催スケジュール（予定）

- 第6回 推進協議会（令和7年度1回目） 8月28日（木）
- 第7回 推進協議会（令和7年度2回目）（12月ごろ）
- 第8回 推進協議会（令和7年度3回目）（令和8年3月ごろ）